

1月12日
(火)

スクリーン印刷の作品で銀賞

—ASGAスクリーン印刷コンペティション—

スクリーン本田代表の本田教治さん（八幡町）が昨年、中国で行われた「ASGA（アジアを中心に11カ国でつくるスクリーン・デジタル印刷業の国際組織）スクリーン印刷コンペティション」に出品した作品「郡上の鮎」が銀賞を受賞し、日置市長に喜びの報告をされました。



▲本田さん（右）と銀賞を受賞した作品

▲世界農業遺産認定の記念として、郡上市へ作品の複製品を寄贈くださいました。

1月13日
(水)

地域での活躍に期待

—高齢者生活支援サポーター修了証を交付—



▲修了証を受けた8人（前列左から）

昨年10月から始まった高齢者生活支援サポーター養成講座の第6回講座及び閉講式を行い、6回すべての講座を受講した8人には修了証が渡されました。受講者からは「自分も高齢者だが、少しでも社会の役に立ちたい」など、地域での支えあい活動を推進していくうえで、心強い意見が聞かれました。

1月19日
(火)

優秀教職員表彰を受賞

—文部科学大臣優秀教職員表彰—

平成27年度の文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞した、吉田祥子教諭（大和北小）と永谷純教諭（白鳥中）が青木教育長に喜びの報告をされました。優秀教職員表彰とは、学校教育において、教育実践等に顕著な成果を挙げた教職員を文部科学大臣が優秀教職員として表彰するものです。



▲喜びの報告をされた吉田教諭（左）と永谷教諭

1月24日
(日)

公認コースが完成

—クロスカントリーコース完成記念式典—



▲式典終了後、県内の選手を対象に記録会を開催

※この事業は、平成27年度岐阜県清流の国さぶづくり推進事業の補助金を受けています。

全日本スキー連盟の5キロ公認コースとして「デイリー郡上・牧歌の里クロスカントリーコース」の完成記念式典が行われました。また、午後からは、元オリンピック選手で郡上市スポーツアドバイザーの籾修子さん（大和町）によるクロスカントリー教室が行われました。

1月25日
(月)

練習の成果を発揮したい

—全国大会出場激励会を開催—

2月2日（火）から北海道で開催される「平成27年度全国中学校体育大会 第53回全国中学校スキー大会」に出場する高鷲中学校の小川朱里さん（3年）、川端奏海さん（2年）、山田亜香里さん（2年）の激励会が市総合文化センターで行われ、大会への抱負などを述べられました。



▲大会へ出場する3人（中）

1月25日
(月)

移住定住促進で3市が連携

—関、美濃、郡上で広域連携協定—



▲協定を結んだ3市長

▲（左から）武藤美濃市長、日置郡上市長、尾関関市長

長良川流域の3市で力を合わせ、移住者を呼び込み、定住につなげようと「移住定住促進による地方創生・広域連携協定」を結びました。日置市長は「世界農業遺産や長良川鉄道で関わりのある3市で力を合わせ自然や伝統文化をアピールし移住定住につなげたい」と期待を込めました。

1月20日(水)
2月7日(日)

郡上本染 鯉のぼり、鮎のぼりが鮮やかに輝く

—郡上本染 鯉のぼり寒ざらし、八幡小学校児童「ふるさと学習」、世界農業遺産認定の「鮎のぼり」—

1月20日(水)郡上八幡の冬の風物詩「郡上本染 鯉のぼり寒ざらし」が小駄良川で行われ、河川敷に大勢の観光客らが訪れ、伝統技法を見守りました。また、郷土の伝統工芸に触れるふるさと学習の一環として、八幡小学校の4年生が「鯉のぼり制作」を行い、渡辺染物店(八幡町)の職人さんや、郡上本染後援会のみ



◀伝統技法を披露する
渡辺さん(1/20)



◀鯉のぼりに色付けをする児童
ら(1/20)

なさんの指導により、1月15日(金)に糊置き、20日(水)の色付けの工程を経て、2月7日(日)には児童たちが「おたま」や「はけ」を使って、鯉のぼりに付いたもち糊を洗い流しました。鯉のぼりは同店で仕上げられ、3月中に学校に届けられます。

2月7日(日)世界農業遺産「清流長良川の鮎」の認定記念事業として、郡上本染 鯉のぼりと同じ技法で染めた「鮎のぼり」の寒ざらし作業が行われました。これは、世界農業遺産に関わる「清流長良川の農林水産業プレーヤーズ」として団体登録(県内50団体、うち市内8団体)している渡辺染物店(八幡町)に、郡



◀制作された鮎のぼり
(2/7)



◀「鮎のぼり」と一緒に制作された横断幕(2/7)

上市が「鮎のぼり」の制作を依頼したもので、年明けからデザイン・制作にとりかかり、この日「寒ざらし」作業が行われました。「鮎のぼり」は今後、イベント会場等に掲示し、世界農業遺産認定をPRするため使用される予定です。

1月25日
(月)

感謝状贈呈と委嘱状伝達

—人権擁護委員への感謝状及び委嘱状—

今回、退任された石徹白ヒロ子さん(白鳥町)には、法務大臣からの感謝状が贈呈され、新たに郡上市から推薦した佐藤百合子さん(白鳥町)には、1月1日付けで法務大臣からの委嘱状が伝達されました。退任された石徹白さんは15年間にわたり人権擁護委員を務められました。

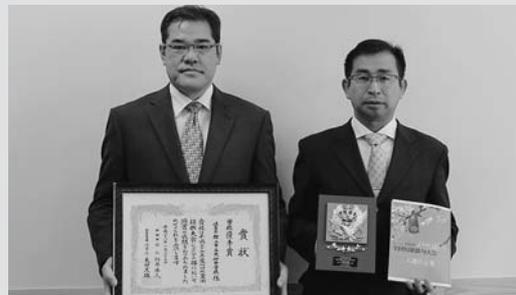


◀退任した石徹白さん(左)と新しい委員の佐藤さん

1月28日
(木)

短歌大会で学校優秀賞を受賞

—NHK全国短歌大会ジュニアの部で学校優秀賞受賞—



◀表彰状の伝達を受けた大坪校長(左)と島津教諭

NHK全国短歌大会ジュニアの部で、学校優秀賞を受賞した大和中学校に、青木教育長から表彰状の伝達が行われました。伝達を受けた大坪校長は、学校での取り組みなどを青木教育長に報告されました。ジュニアの部での学校優秀賞は、最優秀賞に次ぐ、全国2位の成績となります。

1月28日
(木)

高鷲トンネルが貫通

—東海北陸自動車道四車線化事業—

東海北陸自動車道白鳥IC～飛騨清見IC間の四車線化工事に伴う高鷲トンネルの貫通式が行われ、関係者約100人が出席しました。貫通式では、日置市長、野島県議、中日本高速道路（NEXCO中日本）の関係者が貫通発破スイッチを押し、トンネルの貫通を確認し祝いました。



貫通発破スイッチを押す様子

1月29日
(金)

女性目線の農業を語る

—県女性農業経営アドバイザー郡上地区—



意見交換が行われる様子

県女性農業経営アドバイザー郡上地区会員が日置市長、岐阜県農林事務所職員、農協職員らと農業について語り合う「郡上市長と語る会」が川合ふれあい会館（八幡町）で開催されました。会では、若い女性農業者の育成支援や連携を深める活動を充実させたい等の意見交換がされました。

2月1日
(月)

長年の選挙の管理業務等に感謝

—総務大臣感謝状受賞報告—

小澤秀生さん（美並町）が市役所本庁舎を訪れ、総務大臣感謝状の受賞を日置市長に報告されました。小澤さんは、市町村選挙管理委員会の委員として15年以上在職し、長年にわたって選挙の管理執行及び選挙の投票啓発に従事されていることにより、今回の受賞となりました。



総務大臣感謝状を受賞された小澤さん

2月2日
(火)

志摩市へ郡上割り箸贈る

—伊勢志摩サミット応援企画—



大口志摩市長（右）へ目録を手渡す日置市長

郡上市と友好都市関係にある三重県志摩市において、今年5月に開催される伊勢志摩サミットの応援企画として山のまち郡上市から里海のまち志摩市へ「郡上割り箸」5万膳が贈呈されました。特別にデザインした箸袋に入れた郡上割り箸を志摩市内の宿泊施設、飲食店などで使用していただくことで、郡上市のPRとともに伊勢志摩サミット開催を応援します。

2月3日(水)
～5日(金)

商談会へ出展しました

—郡上産品等発信推進協議会—

郡上産品等発信推進協議会は、東京ビッグサイトで開催された「グルメ&ダイニングスタイルショー春2016」に会員共同の郡上ブースを出展し、多数のバイヤーとの商談が行われました。協議会では、市内で製造される商品等の販路拡大のため商談会への出展を支援しています。



郡上ブースの様子

同協議会では、会員を募集しています。
問 市役所商工課 ☎67-1808

2月5日
(金)

待望の安郷野橋が完成

—国道256号安郷野橋渡り初め式—



テープカットをする関係者のみなさん

和良町安郷野地内において、平成25年度から事業を進めてきた国道256号安郷野工区の安郷野橋架け替え工事が完成し、市主催による「国道256号安郷野橋渡り初め式」が行われました。式には、関係者約40人が集まり、テープカットが行われたのち、全員で渡り初めを行いました。